

安保法案めぐり女性議員暴行 双方が謝罪

自民・民主が「手打ち」

民主党の津田弥太郎参院議員は24日、参院特別委員会でも17日に行われた安全保障関連法案の採決の際に暴行した自民党の大沼瑞穂参院議員を訪ね、「けがをしたのは遺憾だった」と謝罪した。一方、自民党の佐藤正久参院議員も24日、民主党の安井美沙子参院議員に対し16日の混乱時に暴行したとして謝罪した。自民、民主両党は双方の謝罪で「手打ち」とする考えだ。津田氏は産経新聞の取材に「関係ない」としていたが、一転して非を認めた。同席した榛葉賀津也参院国対委員長も謝罪した。

大沼氏によると、津田氏は委員長席から離れた場所で大沼氏を引き倒し、膝の上に乗せてから投げ飛ばしたという。自民党の谷垣禎一幹事長は記者会見で「参院で協議した結果だ」と述べたが、大沼氏は「個人として、もう一度しっかりと謝ってほしい」と納得していない様子だった。